



第30回会合における追加質問に対する 事業者からの回答

2025年9月29日
事 務 局

Metaへの質問

Q1 【1-2-2.青少年や高齢者等の脆弱な個人の利用者情報の取扱いに係る配慮】

ティーンアカウントについては、対象ユーザーが対象年齢より上に達したときには自動的に設定が解除されますか？それとも、改めてユーザーの行為が必要となりますか？

（ユーザーが年齢を偽る可能性に鑑み、登録情報以外からもティーンアカウントの対象年齢である可能性を考慮するとのことですが、登録情報以外から判断された場合はユーザーからの申請ベースになりますか？）

ヒアリング当日、御社の側から、ティーンアカウントからの卒業に関する打診を行うとの回答をいただきました。これは、本人が登録した生年月日に基づくものという理解なのですが、御社において他の情報などから本人登録の生年月日が真実ではないと判断されている場合はいかがでしょうか。【上沼構成員】

Meta

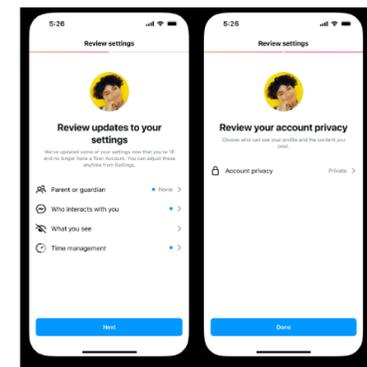
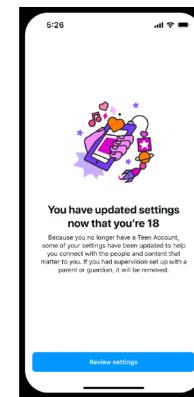
利用者が18歳になる当日、変更についてフルスクリーンインターstitial通知が表示されます。利用者は安全設定の確認・更新を行うため、設定確認フローを完了する必要があります。安全設定（コンテンツ、連絡先、時間管理）は自動的に成人向けデフォルトに更新されます。ただしプロフィールプライバシー設定は例外で、利用者自身が確認・更新する必要があります。アカウントプライバシー設定は変更されません。アカウントが非公開設定の場合、利用者に変更しない限り、18歳になっても非公開のままです。18歳到達後は、利用者はいつでも設定を変更できます。

18歳未満と申告している利用者が誕生日を実際より年上に編集する場合、年齢確認手順を完了することが求められます。

ティーンアカウント以外に、Metaは、利用者の年齢を把握するため、オンライン上の行動履歴を通じて継続的かつ多層系なアプローチで理解を深めています。現実には、単一の方法で全利用者について100%正確に判定することは不可能です。そのため単一のプロセスに依存せず、複数のツール群を構築・強化する方が効果的と考えています。例えば、以下の方法が挙げられます。

- 登録時の年齢収集：新規利用者が登録する際、年齢を特定しない画面において生年月日の入力を求め、13歳未満の利用者をブロックします。
- コミュニティ報告機能：IGおよびFBでは誰でも未成年アカウントの疑いがあるケースを報告可能です。報告は専用チャンネルで審査されます。
- コンテンツ審査員のトレーニング：当社のコンテンツ審査員は、未成年者が使用していると思われる報告済みアカウントをフラグ付けする訓練を受けています。最低年齢要件を満たすことを証明できない場合、該当アカウントを削除します。
- 保護者への啓発活動：Instagram保護者ガイドおよび保護者教育ハブにおいて、最低利用年齢を保護者に周知しています。
- AIによる年齢推定：AI技術への投資により、10代と推定される利用者を検知し、様々なユースケースにおいて年齢に応じたエクスペリエンスを提供しています。

年齢確認オプションメニュー：場合によっては、利用やに年齢確認が求められることがあります（例：利用者がマーケットプレイスの成人向けコンテンツ等にアクセスしようとした際に、当該利用者について、18歳未満と当社が判断した場合、または当該利用者が登録年齢の編集を試みた場合）。



Q2 【1-3.利用者情報の第三者提供の状況】

削除された箇所について、削除された趣旨について教えてください。【上沼構成員】

Meta

読みやすさの観点から、回答を更新しました。なお、削除部分は当社のプライバシーポリシーに引き続き記載されており、第三者と共有される限定的なデータに関する正確な説明となっています。

Q3 【2-3.プライバシーポリシー等に関する利用者の理解度等の把握状況】

利用者の行動評価尺度やアンケート調査に関する情報を可能な範囲で、かつ、丸めた数字で構わないので教えていただきたいです。また、これらのデータに基づき、プライバシーポリシーを変更したことの有無についても教えていただきたいです。【上沼構成員】

Meta

これらのプロセスに関する具体的な統計情報は開示できません。ただし、フィードバックやデータに基づき、プライバシーポリシーを定期的に更新・改善しております。

Q4 【2-4.利用者情報の取扱いを分かりやすくするための考え方、工夫や対処（利用者への働きかけや情報提供、ユーザテストの実施）】

ユーザーからの質問に対応するヘルプセンターやプライバシーセンターについて、ユーザーからどの程度の問合せがあるのか教えていただきたいです。【上沼構成員】

Meta

これらの統計データは公開しておりません。ただし、ヘルプセンターとプライバシーセンターは、利用者のプライバシーに関する選択肢について教育し、当社がどのように情報を収集・利用しているかを理解しやすくすることを目的としています。プライバシーセンターでは、利用者は当社のプライバシーへの取り組みについて学び、プライバシーポリシーを読み、当社が提供する多くのプライバシーおよびセキュリティ管理機能の使用方法を学ぶことができます。

Q5 【5-3.ダークパターンをはじめ、利用者情報の取得、ユーザインターフェースに関する利用者から指摘や問合せ、対応状況】
ダークパターンに関する問合せの追跡を行っていないとしても、利用者情報の取得やユーザインターフェースに関する指摘等は把握されているのではないのでしょうか。それを教えていただきたいです。【上沼構成員】

Meta

Metaはダークパターンや欺瞞的なデザインに関する懸念を深刻に受け止めています。これは世界中の多くの規制当局が懸念する領域であると認識しています。このため、当社は包括的なガバナンス体制、システム、プロセス、ルールを導入し、こうした問題の特定、防止、軽減に努めています。

実施した対応の事例は以下の通りです（書面回答より抜粋）：

● プライバシーに関するダークパターンの分類と基準：Metaは、ダークパターンの種類を分類する分類法と、「してはいけないこと」を定義し、製品チームがこれらの慣行を回避するための指針となる例を示す社内基準を策定しています。この分類法は、外部の学術研究、規制要件、および社内の専門家からのフィードバックに基づいて作成されています。

● 欺瞞的なデザインに関するガイダンス：Metaは、製品開発ライフサイクルの早期段階で欺瞞的なデザインの可能性を特定するために、社内の製品チームが利用できる明確なガイダンスとツールを提供しています。これには、自己評価とリスク軽減を支援するためのチェックリストや例が含まれています。

● 多層的なリスク特定プロセス：

○ プライバシーの現状評価：規制上の義務および外部のプライバシー関係者の期待を継続的に評価し、欺瞞的なデザインのリスクを特定します。

○ 義務の部門横断的（XFN）評価：専門チームが、特定の法律に照らして製品要素を審査し、関連する欺瞞的なデザインリスクを指摘します。

○ プライバシー審査評価：製品所有者は、プロジェクトが欺瞞的なデザインリスクについて審査され、欺瞞的な手法を使用しない、明確で直感的なインターフェイスの要件を満たしていることを確認してから、承認しなければなりません。

○ 自己評価：製品チームは、Metaの定義および分類法を用いて、自社のデザインにダークパターンリスクがないかを積極的に評価することが奨励されています。

● 部門間の連携とエスカレーション：Metaのガバナンスには、基準の整合性を確保し、必要に応じて問題をエスカレーションするための、法務、ポリシー、製品、プライバシーの各チーム間の連携が含まれています。

● トレーニングと意識向上：Metaは、ダークパターンの回避と、ユーザーエクスペリエンスおよび同意の品質に関する高い基準の維持の重要性について、製品チームを教育するためのトレーニングおよび意識向上プログラムに投資しています。

継続的な改善と外部との整合：Metaは、進化する規制の動向や、外部のプライバシー関係者の懸念を監視し、それに応じて定義、基準およびガバナンスプロセスを更新しています。

Q6 【1-2-2.青少年や高齢者等の脆弱な個人の利用者情報の取扱いに係る配慮】

「Instagram ティーンエイジャーアカウント」は13歳から17歳までのティーンエイジャーが利用するものということですが、「親は16歳未満のティーンエイジャーがこれらの設定を緩和するかどうかを決定できる」とされています。「Instagramティーンエイジャーアカウント」を使う16歳と17歳は扱いが分かれるということでしょうか。

利用者が13歳から17歳であること、もしくは18歳以上であることはどのように確認しているのでしょうか。【太田構成員】

Meta

オンラインサービスの未成年者および若年利用者を保護することは、Metaにとって最優先事項です。そのため、技術や規範、被害を受けるリスクの変化に合わせて、若年利用者保護の取り組みを継続的に進化させています。プライバシー、安全性、ウェブビーイングを包括的に検討する視点で、若年利用者の安全確保とオンライン上のデータ決定に関する情報提供を最優先としています。デフォルト設定や年齢に応じた保護機能で若年利用者を支援し、保護者向けツールやリソースを提供することで、当社のプラットフォーム上の低年齢層の利用者がオンライン・仮想空間で健全かつ安全な習慣を身につけられるよう支援しています。

前述の通り、当社は最近「Instagram ティーンアカウント」を導入しました。これは13歳から17歳の10代の利用者が利用するInstagramアカウント向けの設定と保護機能のセットであり、10代の利用者が年齢に適したコンテンツを受け取り、望ましくない接触から保護されると同時に、保護者に監視ツールと管理機能を提供するように設定されています。これらの保護機能は自動的に有効化され、保護者が16歳未満の10代の利用者にこれらの設定を緩和させるかどうかを決定します。

●非公開アカウント：デフォルトで非公開アカウントとなるため、ティーンは新規フォロワーを承認する必要があり、フォローしていない利用者はコンテンツを閲覧したり交流したりできません。これは16歳未満の10代の利用者全員（既存利用者と新規登録者を含む）およびアプリに登録する時点で18歳未満の利用者に適用されます。

●メッセージ設定：10代の利用者には最も厳格なメッセージ設定が適用され、フォローしている利用者または既に繋がっている利用者からのみメッセージを受け取れます。

●センシティブコンテンツの制限：10代の利用者には自動的に厳格なセンシティブコンテンツ制御設定が適用され、エクスプローラーやリールなどの場所で閲覧できるセンシティブコンテンツ（人同士の争いを描写するコンテンツや美容整形を推奨するコンテンツなど）の種類が制限されます。

●交流の制限：10代の利用者はフォローしている利用者からのみタグ付けやメンションを受けられます。また、いじめ防止機能である「非表示ワード」の最も制限の厳しいバージョンを自動的に有効化し、10代の利用者のコメントはDMリクエストから攻撃的な言葉やフレーズをフィルタリングします。

●利用時間制限リマインダー：10代の利用者には、1日60分利用したら、アプリを終了するよう通知が表示されます。

●スリープモードの自動適用：午後10時から午前7時まではスリープモードが有効となり、夜間は通知が消音になり、DMには自動返信が送信されます。

16歳未満の10代利用者は、保護者監督を設定し変更の承認を得ない限り、ティーンアカウントのデフォルト設定を緩和できません。一方、10代後期（16～17歳）の利用者は設定変更が可能であり、これはプライバシー関連の決定において10代後期の利用者の自律性と独立性を確保する重要性を反映した対応です。

Q7 【1-3.利用者情報の第三者提供の状況】

「②ログアウトしたユーザーに関して収集した情報が、当該ユーザーの保有するアカウントと一致する場合、Meta は ①の回答に記載のプライバシーポリシーに記載されている第三者に情報を提供することがあります。」と回答がありますが、ログアウトを行っても、端末にはアカウントに関する情報が残り、Metaでは当該ユーザーを識別できるという理解でよいでしょうか。

アカウントを保有していない利用者について、「わかりやすく説明したポップアップが用意されている」とのことですが、そのポップアップはどこでどのようなタイミングで表示されるのでしょうか。ビジュアルのイメージもご提供いただきたい。また、アカウントを保有していない利用者について、情報収集や利用の停止を行うオプトアウトはどこで行うことができますでしょうか。【太田構成員】

Meta

インターネットの性質上、利用者がウェブサイトを訪れる際には、ログイン状態か否かを問わず、その利用者がウェブサイトとやり取りできるようにするための何らかのデータ収集が必然的に行われます。

ご指摘のポップアップは、Metaプライバシーポリシー内に配置されており、「アカウントをお持ちでない場合でも、お客様のに関する情報を収集します」とリンクが目立つ形で太字で記載されています。これには、アカウントの有無にかかわらず、当社のサービスを利用したりコンテンツを閲覧したりするすべての方々アクセス可能です。

What information do we collect?



The information that we collect and process about you depends on how you use our Products. For example, we collect different information if you sell furniture on Marketplace than if you post a reel on Instagram. When you use our products, we collect some information about you [even if you don't have an account](#).

Here's the information we collect:

- Your activity and information that you provide >
- Friends, followers and other connections >
- App, browser and device information >
- Information from partners, vendors and other third parties >

Information that we collect and receive if you use or interact with our Products but don't have an account

Even if you don't have an account, you may interact with or use [Meta Products](#). Then, we collect things such as:

- Browser and app logs of your visits to public content, such as Facebook Pages and videos
- Basic information about [devices](#) that downloaded our apps, such as device model and OS

We also receive information using cookies and similar technologies, such as the Meta pixel or Social plugins, when you visit other websites and apps that use our [business tools](#) or other Meta Products. Read more about information that we receive from partners, vendors and other third parties in [this policy](#) and in our [cookies policy](#).

Examples of why we collect and receive information

Security of our Products

For example, we collect information to monitor attempted attacks on our systems, such as overloading our servers with traffic. Also, if we see someone without an account trying to load too many pages, they could be trying to [scrape](#) our site in violation of our terms. Then we can take action to prevent it.

Safety and integrity

For example, if someone without an account joins a room and shares a harmful video, we can take action according to our Community Standards. We can remove content that violates our terms and policies, or share information with law enforcement when we believe there is a genuine risk of death or imminent

Q8 【2-3.プライバシーポリシー等に関する利用者の理解度等の把握状況】

「Meta は、プライバシーポリシーへのアクセス率、閲覧時間、利用者が閲覧したセクションなど、利用者の行動を追跡しています」とのことですが、プライバシーポリシーへのアクセス率や閲覧時間はどの程度でしょうか。【太田構成員】

Meta

ご質問は商業上の機密情報に関するものであることから、外部に開示することができませんので、ご理解頂けるようお願い致します。

Q9 【2-8.オプトアウト方式からオプトイン方式への変更の検討】

Metaピクセルタグから収集される情報について、現在日本においてはオプトアウト方式だと思いますが、これをオプトインに変更する検討はされているのでしょうか。また欧州ではどのような対応を行っているのでしょうか。【太田構成員】

Meta

現時点でそのような変更は検討しておりません。

Metaプライバシーポリシーでは、Metaが収集するデータの種類や、Metaピクセルなどのビジネスツールを含む様々な状況下でのデータ収集について明確に説明しています。

利用者が自身のデータについて情報の基づいた選択を行えるよう、当社は様々な管理機能を提供しています。これには、利用可能なオプトアウトツール（例：Metaテクノロジー外での活動、広告設定、データ管理）をすべてまとめたワンストップの「プライバシーセンター」があり、ユーザーアカウントの設定ページから簡単にアクセスできます。

欧州における当社の取り組みは、適用される法令に準拠しています。

Q10 【3-3.第三者や第三者のウェブサイト等に対し、どのように同意取得や通知を促しているか。また、促した結果の対応状況について確認しているか。】

「エンドユーザーのデバイス上のCookieまたはその他の情報の保存およびアクセスに関するインフォームドコンセントを取得すること（欧州連合など）」とのことですが、（欧州連合など）には日本も含まれているのでしょうか。「クッキーの同意リソース」とは何でしょうか。

Meta は、第三者がビジネスツール規約を遵守していることを監視または監査する権利を担保しているとのことですが、その監視や監査は実施されているのでしょうか。【太田構成員】

Meta

利用者がアカウント作成のために登録する際、Metaの利用規約、プライバシーポリシー、クッキーポリシーに同意します。クッキー同意リソースは公開されており、当社の開発者向けリソース（<https://developers.facebook.com/docs/privacy>）に掲載されています。ビジネスツール利用規約の遵守状況に関する監視および監査については、Metaは具体的な事例についてコメントを行いませんが、Metaには第三者にビジネスツール利用規約遵守状況を監視または監査する権利があります。

Metaのビジネスツール利用規約では、契約パートナーに対し、ビジネスツールデータの収集、開示、利用に必要なすべての権利と許可、および法的根拠（適用されるすべての法令、規制、業界ガイドラインに準拠した）を取得していることを明示的に要求しています。

さらにMetaは、禁止される可能性のある情報を特定し、該当する場合に広告主に通知するシステムを導入しています。詳細についてはビジネスヘルプセンターをご参照ください。

Q11 【3-6.第三者の保有する利用者情報と自社の保有する利用者情報を突合することで、広告施策等を実施するサービス提供の状況】

Advanced Analyticsを用いてMeta側のデータと突合した結果を用いた広告配信は可能であるという認識で正しいでしょうか？（例えば、広告主がアップロードしたファーストパーティーデータから過去に広告をクリックしたユーザーにのみMeta広告から広告を配信するなど）【太田構成員】

Meta

広告ターゲティングにアドバンスアナリティクス（AA）を使用することはできません。本サービスは、高度な知識を持つクライアントが、結果として得られる大規模で複雑なマルチソースデータセットに対して測定テスト/クエリを実行することを目的としていますが、測定および分析目的のみに限定され、オーディエンスの作成や広告配信には使用できません。

AA規約では、Meta提供データを用いた個人再識別を禁止しています。

Q12 【4-1.自社サービスにおける外部送信規律への対応状況】
「オンラインでアクセス可能な通知」はどこで公開されていますか。【太田構成員】

Meta

<https://www.facebook.com/privacy/policies/japan> をご参照ください。

Q13 【5-2.ターゲティング広告に係る事前の設定の機会や、オプトアウト機会の利用者への提供について、ダークパターンを回避するための取組】

アカウント登録時に「[アカウント登録]をクリックすることで、利用規約、プライバシーポリシー、Cookieポリシーに同意するものとします。」と記載がありますが、事前のオプトアウト機会が提供されていないように見受けられます。包括的に黙示的な同意を取得し、事前のオプトアウト機会も与えられないことはダークパターンではないでしょうか。【太田構成員】

Meta

FacebookやInstagramなどのMeta製品は、利用規約、プライバシーポリシー、クッキーポリシーを含むMetaの規約とポリシーに同意することを条件に、利用者
に無料で提供されています。

アカウント作成およびサインアップフローをダークパターンと表現する見解には同意できません。当社サービスの利用は無料であり、関連する利用規約とプライバシー
ポリシーは透明性をもって提示され、利用者は規約又はプライバシーポリシーに同意しない場合にはサービスを利用しないことを選択できる以上、これらに同意
するか否かは利用者の完全に任意の選択に委ねられています。

Q14 【1-3.利用者情報の第三者提供の状況】

広告主およびAudience Network のパブリッシャーとベンダーに対して昨年まで記載されていた「ただし、利用者の許可がない限り、
名前やメールアドレスなど、当該情報のみで利用者に連絡したり、利用者を特定したりできる情報を、広告主やそのベンダーと共有する
ことはありません。」という文言が消されていますが、これは利用者の許可がなくとも共有される（もしくは共有される場合がある）とい
うことに変更されたということでしょうか？【寺田構成員】

Meta

変更はありません。読みやすさを考慮して回答を更新したものです。当該記述はMetaプライバシーポリシーに記載されており、第三者と共有される限定的なデー
タについての正確な説明になっています。質問3-6への回答も同様です。

Q15 【Audience Networkについて】

Audience Networkにおける広告の基準や規制は、Metaの商品やサービスと同等でしょうか。特にこどもへの配信についても同等の規制でしょうか。

Audience NetworkにおいてはMetaのデータだけではなく、他のパブリッシャーやベンダーのデータもターゲティングのために利用されていると理解していますが、この場合、年齢確認はどのように行われていますでしょうか？【寺田構成員】

Meta

オーディエンスネットワークのポリシーは、アプリに広告枠を組み込む際に開発者が遵守すべきルールを定めています。これらのポリシーは、当社のコミュニティ規定とともに、オーディエンスネットワークを実装するすべての製品、機能、アプリ、サービス、ソフトウェアに適用されます。詳細は <https://developers.facebook.com/docs/audience-network/optimization/best-practices/an-policy> をご参照ください。

Q16 【「パーパスリミテーション」について】

ユーザー登録の際にメールアドレスを登録するが、メールアドレスをカスタムオーディエンスに活用することが「パーパスリミテーション」に反しないと考えている理由についてお答えいただければと思います。【森構成員】

Meta

「カスタムオーディエンス」とは、広告主がMetaのテクノロジーを利用する利用者の中から既存の顧客層にリーチするための、広告ターゲティングオプションです。これは広告主が既に保有する顧客データに基づいています。カスタムオーディエンスは、広告主が自社の事業や製品に関心を示したことがある利用者と再び繋がり、または特定の利用者（例：既存顧客）への広告表示を排除することに役立ちます。

広告主がカスタムオーディエンスを作成する方法の一つに、メールアドレスの使用があります。広告主は自社顧客のメールアドレスリストをMetaにアップロードし、該当の顧客に広告を配信できます。これらのメールアドレスはアップロード前にハッシュ化されます。Metaはハッシュ化されたメールアドレスを、自社のハッシュ化されたユーザーデータと照合し、Metaの利用者でありかつ広告主の顧客である利用者を特定します。

Metaは、利用者がアカウント登録時にMetaに対して提供したメールアドレスを「カスタムオーディエンス」への追加に使用しません。

利用者との関係性を持つ広告主が独自にメールアドレスを提供した場合について、Metaは広告主にどの利用者が一致したか開示せず、追加で利用者のデータを提供することはありません。

Q17 【Meta外でのアクティビティについて】

発表資料P7に記載されている「Meta外でのアクティビティ」について、これはMeta外のウェブサイトやアプリからMetaに共有される情報に関するコントロールを指している認識でよろしいでしょうか。

また、この情報のコントロール方法について、Facebookのサービス画面上ではどのように設定すればよいのでしょうか。具体的には、「設定とプライバシー」内の「アクティビティログ」にある「アプリとウェブサイト」の項目で設定可能という理解でよろしいでしょうか。それとも、別の設定箇所が存在するのでしょうか。【森構成員】

Meta

ご理解の通りです。利用者は、第三者である事業者がMetaと共有したアカウント関連情報を管理できます。「Metaテクノロジー外のアクティビティ」という設定を通じて、利用者はアプリやウェブサイトによってMetaに共有されたアクティビティデータの概要を確認し、「過去のアクティビティをクリア」オプションを使用することで過去の第三者によるアクティビティデータをアカウントから切り離し、「今後のアクティビティを管理」オプションを通じて、将来のアクティビティデータをアカウントから切り離すかどうかを管理できます。

「Metaテクノロジー以外のアクティビティ」設定へのアクセス方法：Facebookの「アカウント」→「設定とプライバシー」→「プライバシーセンター」→「アカウントを管理」→「あなたの情報とアクセス許可」→「Metaテクノロジー外のアクティビティ」

Q18 【1-2-1.取得情報の加工・分析・利用状況】

③Metaのプライバシーポリシーは一般に公開されており、たとえアカウントを持たずに当社のサービスを利用したりコンテンツを閲覧したりするユーザーがいたとしても、Metaはそのようなユーザーに対し、収集される可能性のある情報とその目的を通知します。

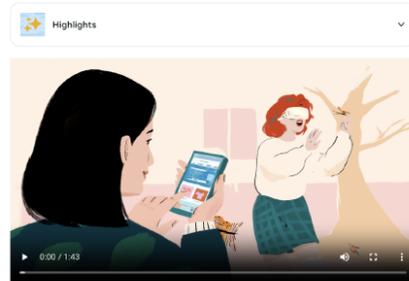
とお書きですが、アカウントを保有せずかつ貴社サービスを利用したりコンテンツを閲覧したりするわけではない人の情報を、外部送信等により収集されていると思いますが、それらの人についての情報を保有・利用していますか？その場合、保有・利用についての情報公開をされていますか？【森構成員】

Meta

Metaプライバシーポリシーには、アカウントを持たない方に関するデータ取り扱いについて明確な情報が記載されています。プライバシーポリシーの冒頭付近に「**アカウントをお持ちでなくとも、弊社は利用者に関する一定の情報を取得します**」と明記された太字のリンクで表示されています。これは、アカウントの有無に関わらずだれでもアクセス可能です。

このリンクでは、Metaがアカウントを持たない個人に関する情報を取得する様々な状況と、その情報の取り扱いについて説明しています。

What information do we collect?



The information that we collect and process about you depends on how you use our Products. For example, we collect different information if you sell furniture on Marketplace than if you post a reel on Instagram. When you use our products, we collect some information about you even if you don't have an account.

Here's the information we collect:

- Your activity and information that you provide >
- Friends, followers and other connections >
- App, browser and device information >
- Information from partners, vendors and other third parties >

Information that we collect and receive if you use or interact with our Products but don't have an account

Even if you don't have an account, you may interact with or use Meta Products. Then, we collect things such as:

- Browser and app logs of your visits to public content, such as Facebook Pages and videos
- Basic information about devices that downloaded our apps, such as device model and OS

We also receive information using cookies and similar technologies, such as the Meta pixel or Social plugins, when you visit other websites and apps that use our business tools or other Meta Products. Read more about information that we receive from partners, vendors and other third parties in [this policy](#) and in our [cookies policy](#).

Examples of why we collect and receive information

Security of our Products

For example, we collect information to monitor attempted attacks on our systems, such as overloading our servers with traffic. Also, if we see someone without an account trying to load too many pages, they could be trying to [scrape](#) our site in violation of our terms. Then we can take action to prevent it.

Safety and integrity

For example, if someone without an account joins a room and shares a harmful video, we can take action according to our Community Standards. We can remove content that violates our terms and policies, or share information with law enforcement when we believe there is a genuine risk of death or imminent bodily harm.

Advertising

For example, you may also see ads for the Meta Company Products shown through [Meta Audience Network](#) when you visit other apps if we can't recognise you as a registered user of the Meta Products.

Performance

For example, we collect information when people use our Products, even if they don't have an account, to measure how fast our pages load in different countries and whether they're working properly. This helps us identify and fix issues with local networks.

Q19 【1-2-2.青少年や高齢者等の脆弱な個人の利用者情報の取扱いに係る配慮】

②および③

すべてのユーザー（ログアウトしている場合やアカウントを持っていない場合でも）は、ここに記載されている当社製品へのアクセス、サポート、および10代の若者のために提供されるリソースに関する情報にアクセスできます。アカウントにログインしていないユーザーまたはアカウントを持たないユーザーは、当社製品の多くにアクセスできず、一部の管理（上記の「*Meta's Age Appropriate Safeguards*（Metaの年齢相応の保護措置）」）は、当該Meta製品にログインしているユーザーの経験にのみ関連するため、ログインしていないまたはアカウントを持たないユーザーには適用されません。

とお書きですが、アカウントを持たないユーザーについてもその年齢をプロファイリングにより推測していますか。推測している場合、推測された年齢をベースにした保護（未成年者、高齢者等）を与えることがありますか？【森構成員】

Meta

現在、アカウントにログインしていない利用者の年齢を特定することはありません。

Q20 【1-5.利用者のプロファイリング（目的、利用する情報等）・セグメント化状況】

③Metaは、アカウントを持たない利用者から収集した情報を、プライバシーポリシーに記載されている目的のために使用しますが、ビジネスツールを通じて第三者から受け取ったアクティビティ情報が登録利用者のもものと合致しない場合に、当該情報を使用して、アカウントを持たない利用者のプロフィールを作成することはありません。

とお書きですが、外部送信等により収集した情報が登録ユーザーのものでない場合には、情報を保有せずに破棄しているということでしょうか？【森構成員】

Meta

第三者から受け取った情報は、インテグリティおよびセキュリティ目的を含む当社のデータ保持ポリシーに従い保持されます。

Q21 【1-6.非ログイン時に取得した情報のアカウント情報への紐付けの有無及びプライバシーポリシー等での記載状況】

マッチングされていないイベントデータ（広告主が当社に送信した非ユーザーの行動情報を含む場合があります）は集計され、当社の機械学習モデルで使用される場合がありますが、Metaは、アカウントのないユーザーのプロファイルを作成するために、登録ユーザーとマッチングできないビジネスツールを通じて第三者から受信した行動情報を使用して、アカウントのないユーザーのプロファイルを作成することはありません。

とお書きですが、これはアカウントのない人の情報を収集した場合にはそれを記録・保有して機械学習に利用することはあるけれども、それらの人に対する広告には利用しないということでしょうか？【森構成員】

Meta

概ねご理解の通りです。

Q22 【2-2.サービス利用開始前の利用者への示し方、通知/同意取得の方法（導線、ステップ数等）】

①から③の各事例において、当社のビジネスツールを通じて当社のサードパーティパートナーからMetaと共有される情報（以下「ビジネスツールデータ」といいます）については、当該ビジネスツールを利用するサードパーティアプリ及びウェブサイトが通知し、必要な同意を取得しているものとします。これは、当社が、すべての当該第三者パートナーに対し、データを収集し共有するために必要な権利および許可、ならびに合法的な根拠を有していることを表明し、保証するよう求めているためです。さらに、特定の行為に関連して、Metaは、第三者のアプリおよびウェブサイト追加の透明性およびその他の義務を課しています。当社のビジネスツール利用規約のセクション1(e)には、第三者のアプリおよびウェブサイトに対する以下の義務が規定されています。

とお書きですが、パートナーがこの義務を順守しているかどうかについての調査はされていますか？【森構成員】

Meta

Metaはこのような具体的な事例についてコメントを行いませんが、Metaはビジネスツール利用規約への第三者の遵守状況を監視または監査する権利を有しています。

Metaのビジネスツール利用規約では、契約パートナーに対し、ビジネスツールデータの収集、開示、利用に必要なすべての権利と許可、および法的根拠（適用されるすべての法令、規制、業界ガイドラインに準拠したもの）を取得していることを明示的に要求しています。

さらにMetaは、禁止される可能性のある情報を特定し、該当する場合に広告主に通知するシステムを導入しています。詳細についてはビジネスヘルプセンターをご参照ください。

Q23 【2-6-2.広告への利用をオプトアウトした場合の利用者情報の取扱い（広告以外の目的での利用の有無、オプトアウトされた利用者情報の削除の実施有無等）】

「Metaに使用させないことを選択した場合、Metaはそのようなアクティビティを使用してユーザーに広告を表示しません。」等のご説明をしていただきましたが、これは要するに、一旦貴社が収集した情報をユーザーが消去することはできないということでしょうか？ユーザーは、オプトアウトによって自分に紐づけられた貴社が保有する情報を消してもらうことができますか？情報の種類によって異なりますか？【森構成員】

Meta

Metaは、利用者が自身の情報を閲覧、管理、ダウンロード、削除するための様々なツールを提供しています。これらのツールはプライバシーセンターからアクセス可能です。

利用者は特定の情報を検索・削除したり、アカウント全体を削除または無効化したりできます。

利用者がアカウントまたはコンテンツの削除を要求した場合、アカウント削除プロセスを開始してから、またはコンテンツ削除要求を受領してから、情報の削除までに最大90日かかる場合があります。情報が削除された後、バックアップやディザスター復旧システムから完全に除去されるまでに、さらに最大90日かかる場合があります。

Q24 【日本拠点のガバナンス体制について】

日本拠点において、コンプライアンスやpublic affairsを選任で担当する常勤社員は何名いらっしゃいますか。【呂構成員】

Meta

この質問は本モニタリングの範疇を超えるものと思料します。

Q25 【日本拠点のガバナンス体制について】

日本拠点において、日本語の利用者体験を前提にUI/UXを設計・検証できる社員は何名いらっしゃいますか。【呂構成員】

Meta

この質問は本モニタリングの範疇を超えるものと思料します。